

# 西国巡礼慈悲の道

西国第二十六番

法華山

一乗寺

## 諸堂修理と金堂落慶法要

山主 太田實秀

一乗寺金堂は寛永五年（一六二八）に姫路藩主本多忠政公によって再建されて以来三八〇年後の平成二〇年一月に半解体修理を終え、その後は仏像仏具の搬入安置で忙殺されましたが四月一日から参詣者の入堂が可能になりました。起工の平成十一年初から十年間に及ぶ長期工事での間台風や落雷で大きな被害もありましたので、工事が終るとしばらく安堵しました。

思い起こせば住職に就任してみると、当山の堂塔はどれも傷みが大きく愕然となりましたが、昭和六二年五月突風の為に破損した三重塔修理工事に始まり、常行堂屋根葺替内陣荘嚴、東惣門解体修理、歓喜院石垣新設のあと阪神淡路大地震の被害によって開山堂解体修理、行者堂改修、宝物館屋根葺替、地藏院屋根葺替塀改修などを余儀なくされました。そして平成十一年

早々愈々金堂半解体修理に入り、その工事の最中にも法輪堂屋根葺替をし、石段の修理をし、落慶法要の客殿に当てるべく歓喜院復元工事を行いました。また此の間、金堂御本尊の脇侍の不動明王像・毘沙門天像を新彫御安置し、御本尊觀世音菩薩を圍繞する二十八部衆並びに風神雷神像を全て補修し、開山堂御本尊の法道仙人倚像を新彫御奉安いたしました。

平成二十一年十一月十四日清々しい雨後の晴天下に西国三十三所御山主総供養の盛儀を以って嚴修され、工事関係者をはじめ一宗御重役、来賓各位、檀信徒各位皆法悦にひたり、続いて金堂大修理奉告式典も無魔円成されました。

花山法皇一千年忌記念西国三十三所結縁御開帳にも間に会い胸を撫で下ろしました。

金堂の落成慶讃大法要は厚くお礼を申し上げます。



西国第二十六番

法華山

いちじょうじ  
一乗寺

天台宗別格本山

御本尊／聖観世音菩薩 開基／孝徳天皇勅願法道仙人開山

春ははな 夏はたちばな 秋はきく

いつも妙なる のりのはなやま

## 観音風光

伽藍の修理は引続き次の建物を予定しています。

- 一、池ノ弁天堂
  - 二、護法社（重文）
  - 三、妙見社（〳）
  - 四、弁天社（〳）
  - 五、鐘楼（県文）
  - 六、太子堂
  - 七、西の惣門
  - 八、地藏院
- また奥之院開山堂、賽ノ河原周辺の治水工事にも取り掛っています。

### 主な年中行事

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| 正月三ヶ日   | 初詣<br>（お守、おみくじ、お札授与） |
| 一月五日    | 修正会                  |
| 二月三日    | 節分会                  |
| 三月十八日   | 春彼岸会                 |
| 四月四日    | 定例宝物拝観日<br>（十時～十五時）  |
| 五月三日～八日 | 花祭大祭（八日は本祭）          |
| 八月二十一日  | 施餓鬼会                 |
| 九月二十一日  | 秋彼岸会                 |
| 十月十五日   | 開山会                  |
| 十一月五日   | 定例宝物拝観日<br>（十時～十五時）  |

〒675-2222 兵庫県加西市坂本町821-17

TEL 0790-48-2006(本坊)・4000(納経所)／FAX 0790-48-3848

納経時間 午前8時30分～午後5時

宝物館拝観は2週間前までに往復葉書・FAXにてお申込み下さい。

### 仏教用語一口解説

#### 不邪見とは

「自己中心的な考えをしてはならない。」という意味。自分だけが正しいと思い込み、自分だけが偉く、自分中心に世の中が回っていると勘違いしている人、皆さんの周りにも居るでしょう。そんな風に思い込んでいる人は、物事の本質が理解できなくなってしまう。世の中の物事は、様々な人との出会いや様々な行動によって起こってくるもの。因果の道理です。素直な心を持って、物事を考えることが大切なのです。